

平成22年度実施予定事業のお知らせ

武雄市協働まちづくり地域交付金

市では、平成20年度に「武雄市協働まちづくり地域交付金制度」を設けました。この制度は、地域の特色を生かした個性豊かな住民総参加によるまちづくりと地域の均衡ある発展を目指して、市内各町を単位とし

て組織されたまちづくり協議会に対し、平成20年度から平成24年度までの間、交付限度額の範囲内で交付金を交付するものです。平成22年度の各町まちづくり協議会で実施予定の事業は、次のとおりです。

事業費(交付予定額)	主な事業内容
武雄町 438万円(171万円)	桜山の桜・モミジ植林事業、温泉春まつり事業、事業計画策定に関する事業(「協議会だより」の発行等) ほか
橘町 592万円(569万円)	周防大島体験活動事業、相撲場屋根設置事業、歴史伝承事業、生活環境保全事業、地産地消推進事業 ほか
朝日町 92万円(92万円)	ハザードマップの作成事業、EM(有効微生物群)による河川浄化活動事業 ほか
若木町 683万円(683万円)	防災無線の整備事業及び防災訓練
武内町 1610万円(861万円)	危険箇所マップの作製事業、町内施設看板の設置事業、武内町コミュニティ放送普及事業 ほか
東川登町 363万円(353万円)	東川登町やってみゆい祭ステージ整備事業、地区案内表示整備事業、ハザードマップ作製事業 ほか
西川登町 1154万円(1040万円)	防災・コミュニティ放送設備設置事業 防災無線・個別受信機を利用した防災訓練
山内町 501万円(500万円)	史跡・文化財サイン整備事業、防犯灯整備事業、夏祭り(七夕まつり) ほか
北方町 896万円(876万円)	北方中央線イルミネーション維持管理、交通安全・防犯のための整備、人づくり事業 ほか

合計 63,311,432円 (51,466,650円)



担当:原

問 政策部 市民協働課

☎(23)9122

武雄市「がばい」たっしゅかプラン

12月は「控えんばあ」月間です

忘年会シーズン。このときばかりは、健診で注意されたことも忘れて、つい飲み過ぎ・食べ過ぎになりがちです。

お酒を「控えんばあ」

多量の飲酒は肝臓に負担をかけます。肝臓は黙々と働き続け、ダメージがあっても自覚症状がほとんどありません。

また、お酒により食欲が増し、カロリー(お酒+食事)も過剰になりがちです。ご注意ください。



望ましい飲酒量は一日一合

- (純アルコール量換算で20g)
- ビール 中びん1本500ml
 - 日本酒 180ml
 - 焼酎(25度) 100ml
 - ウイスキー 60ml
 - ワイン 240ml

タバコを「控えんばあ」

お酒を飲みながらタバコを吸うという光景は減ってきたようです。最近では禁煙分煙のお店や会社が多くなりました。

タバコは、においや副流煙による周囲への迷惑、発がん物質等が多いことも忘れなく。

年末年始は「控えんばあ」

「年末年始は太る」とよく耳にします。仕事が休みで体を動かすことが減り、カロリー消費が少なくなります。

年末の「餅つき」からお正月の「お雑煮」「焼き餅」等は楽しみですが、餅はカロリーが高いので食べ過ぎに気をつけましょう。

- 餅1切れ50g(市販の餅の大きさ。丸餅なら直径5cm程度)は118キロカロリー。
- 餅2切れでごはん約1杯分のカロリーに相当します。
- ※1切れ消費するには徒歩24分(体重60kgの人)が必要です。



問 暮らし部健康課

☎(23)9135

担当:永洲

